

共に生きる人—母マリアのわが子イエスへの信頼

校長 Sr.大山 江理子



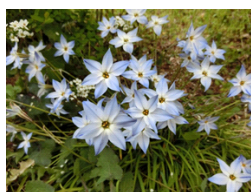
花々が色とりどりに美しく咲くこの季節、つい花を摘んでみたり、花束を作ってみたりしたくなります。初等科でも5月の聖母月には、マリアに花の冠を捧げて祈ります。

聖書の中で限られた箇所だけに登場するマリアですが、母としての姿には心惹かれます。マリアは誰よりも息子イエスを信頼している存在と映ります。「信頼している」ということは、自分の思い通りということとは異なります。イエスはおそらく、マリアの「思い」や「期待」を裏切ることは多々あったに違いありません。と言うより、期待を超えていたと言った方がよいかもしれません。

ヨハネによる福音書2章にある「カナでの婚礼」の箇所、マリアのイエスへの信頼をうかがい知ることができます。にぎやかな婚礼の席に息子共々招かれているマリアは、どうもワインが足りなくて困っているらしい・・・と気づき、イエスに知らせます。イエスはすぐに動こうとはしないようです。しかし、マリアには確信があります。つまり、イエスは困っている人を放っておくことはない。どういう方法をとるかはわからないが、必ず何とかするでしょう。この箇所に、子どもを育ててきた母としての子への強い信頼が読み取れます。それは言い換えると、子育てに模索し、時には失敗しながら、自身として大事とすることがらを教え続け、子どもを見守り続けてきた母としての自信でしょう。私の息子は大事なことをしっかり受け継いでいます、という自信です。マリアが子に伝えてきたことは、「共に生きる」という姿勢です。そして、これは神についてのマリアの理解でもあり、神がイエスを授けてくださった、神はいのちを分かち、共に生きてくださる存在だという、イエスを授かった最初の瞬間の経験に遡るものです。

マリアは、イエスが亡くなり、復活してからは、イエスの母のみならず弟子たちの母となり、イエスを信じる人々の共同体である教会の母となっていく。自分の子を深く信頼しながら、我が子のことだけにならず、広く周りの人々と共に生きる姿勢をもっていたからのことでしょう。

初等科でのプラクティスに心を合わせ、私たちも信念を持って、子を育てる者としての母マリアに倣いたいものです。



5月の予定

7日(火)	1年生を迎える会 1年保護者会 6年保護者会	17日(金)	運動会総練習
8日(水)	運動会全体練習① 5年保護者会	20日(月)	運動会総練習予備日
9日(木)	全体練習①予備日 2年保護者会	21日(火)	尿検査2次予備日
10日(金)	運動会全体練習② 3年保護者会	24日(金)	運動会準備(午後)
13日(月)	全体練習②予備日 4年保護者会	25日(土)	運動会 聖マグダレナ・ソフィア祝日
14日(火)	尿検査2次	26日(日)	雨天予備日
15日(水)	母の会代表幹事会	27日(月)	雨天予備日 運動会代休
		28日(火)	雨天予備日 聖マグダレナ・ソフィア祝日お祈り会
		31日(金)	聖母戴冠式



Be wise. Be creative

副校長 大島 久幸

過日の合同保護者会及び学級懇談会には、ご多用の中、ご出席くださりありがとうございます。ソフィア・バラホール改修工事に伴い、2部構成となり、時間も座席も窮屈となってしまい申し訳ございませんでした。

今年度は、同様なことがしばしばあるかと思えます。保護者会の折にも、お話しさせていただきましたように、ご理解、ご協力をお願いいたします。

2019年度が始まり3週間が過ぎました。今年度の教育目標は「Be wise. Be creative」～進んで考える。工夫してアクションをおこす。～です。まだ始まって3週間ほどですが、いろいろな場面で「Be wise. Be creative」な子どもたちの姿を見ることができました。

年度初めには、3年生以上の学級では学級委員を決めます。職員室で各担任から立候補の状況と投票結果の報告があります。あるクラスでは21名の児童が立候補しました。年度が替わり、人のために自分ができることは何かを考え立候補したのだと思います。

そのような中で、他の場面でもアクションを起こす児童の姿がありました。

〈児童会選挙〉

16日(火)に、5・6年生から児童会の代表役員(会長1名、副会長2名、書記2名)を選ぶ、立ち会い演説会が開催されました。30余名の立候補者が一人ひとり、なぜ立候補しようと思ったのか、その役についたら何をしようと思っているのかなどを堂々と主張することができていました。今年は、「Be wise. Be creative」というフレーズを引用して、児童会がどのような役目を担うのか、どのようなことをしていこうと考えているかの主張が多かったです。今年の聖心の教育目標や今、課題になっていることにふれていることに、意識の高さを感じさせられました。



演説を聴いている4・5・6年生の子どもたちの聴く態度は、真剣そのもので、姿勢良く、耳を澄ませて、立候補者の発する言葉の一つ一つにうなずきながら聴いていました。

〈学校探検〉

17日(水)に、1年生が、6年生のお姉様方と一緒に初等科の校舎の中を探検しました。2年生以上の子どもたちにとっては、いつもの見慣れた風景ですが、1年生にとっては、初めて見る部屋やマリア様のご像や絵など、興味津々で見えていました。1年生の教室の窓から下に見える中庭(みこころ広場)にも初めて足を踏み入れ、噴水を見ながら通り抜け図書室や図工室に行けることを発見しました。



職員室前にはウサギのうめちゃんのゲージがありましたので、その周りに集まって眺めていました。少し緊張ぎみですが楽しそうな笑顔の1年生と、初等科の最上級生として一番小さな妹に少し腰をかかめながら手を繋ぐ6年生の温かな顔が、とても微笑ましかったです。

〈お弁当会〉

17日(水)に3・4年生のお弁当会がありました。26日の遠足に向けて縦割りグループの顔合わせが目的です。

4年生は、今年の年明け頃からファーストステージのリーダーになるという意識が有りましたので、お弁当会でも3年生が困らないように、寂しがらないようにとcreativeにいろいろと声かけをしていました。26日の遠足では、きっと3年生は楽しい一日を、そして4年生は、体も心も使って疲れたけれどやり遂げた、という感想をもったことと思います。



マリア様の月のプラクティス
笑顔とあいさつでつながろう

